



TITLE:

經濟學讀書會記事

AUTHOR(S):

高田, 保馬

CITATION:

高田, 保馬. 經濟學讀書會記事. 經濟論叢 1916, 2(4): 627-628

ISSUE DATE:

1916-04

URL:

<https://doi.org/10.14989/126980>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第二卷 第四號

論說

● 雜種稅ノ分析及其整理

● 奢侈ト貧困

● でがゐるつゝひゆるむノ經濟學說(三)

研究

● 不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

● 保險ト偶然性

● 本多利明ノ經濟說(三)

雜錄

● 英國經濟政策ノ變轉期

● 貧民ノ體力ニ就イテ

● 英國ノ戰爭利得稅

● 本邦私出產ノ死産

● 歐洲各國ニ於ケル生活費ノ増加ニ對スル防止策

● 郷土ノ經濟的研究

● 所有權ノ起源

● 紙幣ノ下落

● 經濟學讀書會記事

● 富田博士ヲ悼ム

法學博士 神戶 正雄

法學博士 河上 肇

法學博士 福田 德三

山口高等商業學校教授 作田 莊一

法學士 小島 昌太郎

講師 本庄 榮治郎

助教授 河田 嗣郎

講師 高田 保馬

法學博士 小川 郷太郎

教授 財部 靜治

助教授 山本 美越乃

法學博士 神戶 正雄

講師 本庄 榮治郎

法學博士 河上 肇

講師 高田 保馬

法學博士 織田 萬

經濟學讀書會記事

講師 高田保馬

福田博士ノ入洛ヲ機トシテ、二月十六日午後五時ヨリ經濟學讀書會ヲ學生集會所ニ開ク。來リ會スルモノ、福田博士ヲ初メトシ織田、仁保、神戸、雄本、佐藤、小川、佐々木、財部、河上、壁道、山本、

河田、米田、岡本、瀧、本庄、大山、西、小島、高田ノ諸氏ノ外、祖本、藤谷(同志社)山内(日本銀行)石井(大阪朝日)ノ四氏アリ。
福田博士講演ノ大要左ノ如シ。

英國ノ相續法 福田博士

サキニ穂積博士ノ隱居論ヲ批評シタリシガ、其後更ニ進ミテ考フルニ隱居ノ問題ハ英國ト獨逸トニ於テ頗ル趣ナ異ニス。其理由ヲ考フルニハ、其相續法ノ經濟上ノ方面ヲ比較スル必要アリ今ハタダ英國ノ相續法ニ就テ述ベント欲ス。

獨逸ニテハ隱居ノ事實可ナク廣ク且ツ久シク行ハレタルニ反シ、英國ニテハ此制度殆ンド無シ。此差異ハ果シテ如何ナル事情ニ本ヅクヤ。先月國家學會雜誌ニ中世ノ相續法ヲ論ジテ、隱居ノAnerbenechtニ件フ事ノ不動產ヲAnerbeニ讓レル者ノ隱居セザル可カラザル事ヲ脚註ニ載セタリ。然レドモ、思フニAnerbenechtト隱居トハカカル關係ニ立ツモノニ非ズ。二者ハ相displaceスルモノニシテ、Anerbenechtノ少クモ事實上存在セザル所ニ非ズバ隱居ナシ。蓋シ二者ハ共ニ土地所有ノ不分割ト云フ同一目的ヲ達スル手段ニ外ナラザレバナリ(日本ノ隱居ハ之ト大ニ趣チ異ニス)。隱居ノ制獨逸ニ廣ク行ハレタリ英國ニ存セザル事實ハ之ヲ證ス。英國ニテハentailト云フ形ノ下ニ總領相續ノ行ハルガ故ニ、隱居ノ制度ハ不必要ナリ。以下、此結論ニ到達センガ爲ニ英國相續法ヲ經濟史上ヨリ説カン。

英國ニ於ケル不動產相續法ノ發達ハ之ヲ二大時期ニ分ツ可シ。
(一)ちやあるス二世ノ時封建制度ノ廢止セラルルマデ、(二)封建制

度ノ廢止以後コレナリ。第一時期ハ未ダ封建制ノ存在セザリシ時ニ始マリ其廢止期ニ及ブ。封建制度ノ確立ハWilliam the Conquerorノ時ニアリ。ソレ以前ニ關シテハ、土地相續ノ事タル想像シ得ルノミニシテ云フヲ得ズ。思フニ經濟單位ガ家族共產體ナリシ間ハソガ死滅スル事ナキヲ以テ、相續、少クトセ分割相續ハ問題トナラズ。相續ノ起ルハ此家族共產體ノ分解スル時ニアリ、英國經濟史上ノ事實トシテ、相續制度ノ最古キハ家族共產體ノ分解シテ生ジタル諸子均分法ナリ、此際自ラ家其物ノ繼承ハ末子相續法ニヨル。但シ、ナホ未ダ、純粹ニ個人的相續ノ行ハレズ、土地ノ處分ハ少クモ男子ノ親戚ノ形式的承諾ヲ要シタリ。然レドモ、事實ニ於テハ、一族ノ承諾ナクシテ、賣買ノ行ハレタルノミナラズ、特ニ教會ハ個人的處分ヲ助長シタリ。中田博士ノ職權留保附領主權野進ト名ツラレタル事實ハ當時ノ英國ニ於テモ亦存在シタリシナリ。

カクテ、一度家族共產體ノ束縛ヲ免レタル土地ハ一〇六六年封建制度ノ確立セラルルニ及ビ、名義上ニモ事實上ニモ束縛セラレルニ至レリ。アラユル土地ハ王土ニシテ、寺田ト俗田トニ分レ俗田ニハ士田ト農田トノ別アリ、農田ニハ自經地即チ土ガ奴隸農奴ヲ使役シ、自己ノ計算ニ於テ經營スル demesne landトハ villansノ耕作スル役地 land in villinageアリ。土地ノ種類ノ異ナルニツレテ相續法亦異ナリ。士田ニ就イテハ諸子均分法行ハレズシテ長子相續行ハレタリ。コレ征服者ガ土着ノ被征服者タル英人ヲ壓伏センガ爲ニ飽迄現狀維持ヲ必要トシ、其爲ニハ經濟上ノ中心タル小土地所有ヲ從前ノママ確定セント力メ

タルニ出ヅ。次男以下ハ原則トシテ長男ノ土地ヲ借りテ耕作ス。コハ後發達シテ subinfundation, substitution ノ制度トナレリ。前者ハ所有土地一部ノ又貸シニシテ後者ハ全部ノ又貸シナリ、前者ノ場合次男以下ハ陪臣タリ、後者ノ場合ハ直接ノ臣タリ。コハ一方ハ土地不分割ノ要求ヲ充タスト共ニ、經濟上ノ利益ヲ大ナラシムル所以ナリ。而シテ此土田ノ相續法ハ他ノ相似タル種類ノ土地即チ socage farm ニモ及ビキ。コハ士田ガ武士トシテノ奉公ニ對スル知行ナルガ如ク、soccmen ガ經濟的奉公ニ對スル知行ニシテ其性質頗ル相近シ。此ノ socage farm ハ十三世紀頃マデあんで、さくそん固有ノ均分法ニヨリシモ、遂ニ十三世紀ノ終ニ於テ長子相續法ノ下ニ入り來レリ。役地ハ領主ノ有ニシテ villain ニ所有權ナキガ故ニ、相續權ナシ、使用者死スレバ領主ノ手ニ還元ス。然レドモ、コハ法律上ノ道理タケニシテ、實際ニテハマタ相續權ヲ認ム。父死スレバ子 使用ノ權利ナシトバンカ、土地ノ荒廢生ゼン。而シテ認メラレタル相續法ハ領主ノ利益ヲ本位トシテ一子相續行ハル。一子相續ト云フモ villain ノ地位低キ間ハ末子相續法行ハレシガ、漸次其解放セラルルニ及ビ、長子相續法行ハレ、遂ニ十四世紀ニ至リテハ末子相續法モ均分法モ全ク其跡ヲ絶チ、長子相續ハ唯一ノ相續法トナレリ。コニ至リ再ハ新ナル變化ヲ生ズ、長子相續ハ轉ジテ總領相續 entails トナル。總領相續法ノ行ハルルニツレテ次男以下ノ處分ハ如何ニセラレシカ。コハ實ニ entails ノ運命ヲ左右スル問題ナリ。(一)農地及ビ socage farm ニテハ長子全部ヲ相續スレバ次男以下ハ寄食スルカ又ハ家ヲ出ヅ(二)士田ニテハ最も廣ク行

ハレシモノチ subinfundation トス。其他或ハ僧侶トナリ或ハ演入トナリ或ハ法官トナル。此法官ハ始メ總領法ニ忠實ナル解釋ヲ與ヘタリシガ漸次此解釋ヲ改ムルニ至レリ。蓋シ、土地處分ノ不可能ハ進歩シタル經濟上ノ要求ト相容レザル所多カリシガ故ニ、法官ハ法律ニ自由ノ解釋ヲ加ヘ之ヲ fee simple トシテ取扱フニ至リシナリ。彼等謂ヘラク、士田ハ皆長子相續ノ條件附ニテ知行トシテ與ヘラレタル dona conditionalia ナリ。而モ子生ルレバ相續ヲ開始スルヲ得可ク、dona conditionalia ハ早ヤ無條件のモノトナルナリト。コノ事大ニ行ハレシヨリ一二六五年 De donis conditionalis チ發シテ之ヲ禁止ス。次デ一二九〇年 Quia emptores ノ制定アリ、此法ニヨリテ土地ノ分割ヲ禁止シタリ。コレ從來 subinfundation ノ形ニテ行ハレタル土地ノ分割ヲバ、一部ノ又知行ニテモ直接ニ領主ニ義務ヲ負ハシムル事ニヨリテ禁止シタルナリ。カクテ、entails ハコニ永久的ニシテ且ツ分解ス可カラザルモノトナリ、其不滅的性質ヲ確メタリ。此二者ノ中 Quia emptores ハ長男ガ次男以下ヲ助グル有力ノ方法ヲ導ヒ、次男以下ノ利益ヲ損フ事ナリシモ、複雑ナル land tenure ノ組織ヲ收メテ簡單ナルモノトナス事ヲ得タリキ。而シテ、De donis conditionalis ニ至リテハ entails ナ永久的トナセシガ爲ニ一方自由獨立ヲ愛スル英人ノ感情ヲ害シ、他方農業ノ發達ヲ害シタリ。以上ハ entails ノ成立及ビ之ニ關スル議論ノ一端ナリ entails ノ其後ノ沿革ニ就イテハ時間ノ都合上之ヲ説ク事ヲ得ズ。英國ニ於イテハ今日ナホ entails ノ行ハルルヲ見ル。コレ、獨逸

雜錄

ト異ナリテ隱居ノ制度ヲ有セザル理由ナルガ、entails ハマタ
土地ノ分割ヲ妨ゲ、土地ガ極少數ノ地主ノ手ニアルノ弊ヲ致セ
リ。全土地ノ四分ノ三ハ數萬人ノ手ニ、二分ノ一ハ數千人ノ手
ニアリテ、小農ハ其跡ヲ絶テリ。英國ガカタ大農ノ國トナリシハ
其他ノ原因ノ作用モ無キニ非ザレトモ、重ニコレ entails ノ結
果ナリ。自由貿易制度ノ爲ニ小農ノ亡ビタリト云フハ誤レリ。
其影響ハコレ無キニ非ザレドモ、自由貿易ノ存在セザリシ時既
ニ小農ノ殆ンド亡ビタリシヲ認ム可シ。見ヨ英國ニ於イテ the
trade in land ノ存在セザリシガ爲ニ、小農ナク、從ヒテ穀物自
給ノ能力ナシ。食物供給ノ點ヨリシテ英國ガ獨逸ニ敗ルル事ア
ラズコト entails ノ力ナリ。

博士ノ講演ハ六時四十五分ヨリ八時五十分ニ至ル。講演終ルヤ
順次、佐藤博士、瀧本教授、雄本博士、小川博士、佐々木博士、神
戶博士、麻道教授、河田助教授ノ質問アリ、一々之ニ對スル福田
博士ノ應答アリ。其終ルヤ、時既ニ二十時、時間ノ不足ハ遂ニ講演
ニ對スル會員ノ批評ノ餘裕ヲ與ヘズ、已ムナク直ニ散會セリ。